SDGs達成に向けた具体的な取組

カテゴリ	チェック項目	具体的な取組	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
人権・労働	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	･丸全昭和運輸グループ人権方針の掲載(HP) ･就業規則、グループ社員の行動規範へ明記 ･内部通報規程を制定し、社内･社外窓口を設置 ･階層別研修や会議にて教育を実施					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	･丸全昭和運輸グループ人権方針の掲載(HP) ･就業規則、グループ社員の行動規範へ明記 ･ハラスメント防止規程の制定 ･内部通報規程を制定し、社内･社外窓口の設置 ･階層別研修や会議にて教育を実施					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8								16.1	
	【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	･丸全昭和運輸グループ人権方針の掲載(HP) ･労働時間管理指導の強化 ･時差勤務、フレックス勤務制度の導入 ･労働基準法における36協定の遵守 ･ITを利用した業務効率の改善 ･勤怠管理システムによる適正な労働時間管理を実施								8.5 8.8									
	【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	･丸全昭和運輸グループ人権方針の掲載(HP) ･就業規則、グループ社員の行動規範に明記 ･内部通報規程を制定し、社内･社外窓口を設置 ･階層別研修や会議にて教育を実施				4.4				8.5 8.7 8.8		10.2 10.3							
	【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	･丸全昭和運輸グループ人権方針の掲載(HP) ･安全方針、行動指針の掲載(HP) ･安全品質委員会の設置 ･5S、見える化運動、各種安全教育、ヒヤリハット運動、安全パトロール等協力会社と一体となったグループ全体の安全品質向上の取り組み ･Gマーク取得 ･トラック安全運転、フォークリフト安全運転技能競技会の開催			3					8									
	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	･社員への定期的な相談窓口の案内 ･管理職への研修実施(1回/年) ･専門医による復職支援、両立支援の取り組み ･ストレスチェック後の集団分析と職場環境改善の取り組み			3														
	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	･女性取締役の登用(社外取締役) ･障がい者雇用比率の向上(目標2.5%以上) ･嘱託再雇用制度の導入 ･育児休業制度の拡充、時短･時差･フレックス勤務制度の整備 ･介護休業制度、再雇用制度の整備 ･多様な休暇付与制度(結婚、配偶者の分娩、親族死亡、災害発生等) ･女性キャリア形成研修等の実施 ･新規採用者の女性比率20%を目標					5.1 5.5			8.5		10.2 10.3							

カテゴリ	チェック項目	具体的な取組	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
人権・労働	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	･各種社内研修制度（新入社員、OJT、階層別研修等） ･人事考課フィードバック制度による職務レベルの向上 ･自己啓発のための通信教育講座開催･費用補助 ･各種表彰制度（永年勤続、無事故等）				4	5.5			8	9								
	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	･同一労働同一賃金等の原則に沿った公正な待遇を実施					5.5			8.5		10.2 10.3							
	【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	･健康経営推進委員会の設置 ･健診事後措置の徹底による重症化予防 ･禁煙サポートプログラムの提供 ･アプリを活用した生活習慣病予防の実施 ･健保組合との連携によるがん検診の充実			3					8									
環境	【３Ｒの推進】 ・事業活動等から発生する廃棄物の管理及び処理を適切に行う等、３Ｒ（リデュース、リユース、リサイクル）の推進に取り組んでいる	･環境方針の制定 ･裏紙利用の促進 ･ペーパーレス会議システムの導入 ･PET再利用品の作業着の購入											11.6	12.4 12.5		14.1			
	【エネルギー】 ・自社のエネルギー使用量を把握し、エネルギー利用の効率化を進めている	･クールビズの実施 ･自社倉庫での照明のLED化の推進 ･エネルギー使用量を把握し、過去5年間のエネルギー使用量1％削減を目標としている							7.3						13				
	【温室効果ガス】 ・自社の温室効果ガス排出量を把握し、排出量の削減を進めている	･EVトラック等環境配慮型車両の導入推進 ･モーダルシフトによる鉄道、海上輸送の推進							7.2 7.3					12.4	13.3				
	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	･PCBの適正廃棄の為、行政への保管場所の届出 ･フロン排出抑制法における点検の実施			3.9			6.3					11.6	12.4					
	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	･事務用品購入時、エコマーク商品等グリーン購入の推奨						6.6									15		
	【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	･事業所での水使用量の管理 ･雨水を浄化して利用						6.4 6.6											
	【環境マネジメントシステム】 ・ＩＳＯ14001、または同等の環境マネジメント規格を取得している	･ISO14001認証取得（18営業所） ･グリーン経営認証取得（18事業所）			3.9			6	7					12	13.3	14	15		
	【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	･環境方針、行動指針の掲載（HP） ･TCFD提言への賛同および提言に基づく情報開示												12.6	13				
	【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	･倉庫屋上に太陽光発電設備の設置							7.2						13				
	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	･事務用品購入時、エコマーク商品等グリーン購入の推奨												12.2	13	14	15		

カテゴリ	チェック項目	具体的な取組	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
製品・サービス	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	･ISO9001認証取得(8事業所) ･AEO認定通関業者、特定保税承認者認証取得 ･Gマーク取得			3.9									12.4					
	【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	･丸全昭和運輸グループ調達基本方針の掲載(HP) ･品質方針、行動指針の掲載(HP) ･DXの取組みにより業務の効率化とサービスの高付加価値化を推進									9								17
	【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	･モーダルシフト輸送の提案、推進 ･エコレールマーク協賛企業に認定 ･バイオマス発電原料の輸送･保管						6						12	13	14	15		
	【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	･災害時の物資拠点として行政に協力 ･使用済リチウム電池の回収物流の展開	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
社会貢献・地域貢献	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	･災害時の物資拠点として行政に協力(横浜、名古屋) ･災害時の一時避難所としての協定を締結(川崎)				4					9		11	12		14	15		17
	【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	･各事業所周辺の清掃活動への参加 ･献血活動への参加 ･ペットボトルキャップの収集と寄付 ･横浜YMCAの各種取り組みへの参加 ･2027年 国際園芸博覧会の「推奨物流事業者」及び「場内貨物取扱指定事業者」に選定				4							11			14	15		17
	【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している	･各事業所において地場事業者からの調達を実施								8	9		11	12	13				
組織体制	【内部管理体制】 ・ＳＤＧｓの達成に向けた経営理念及び経営目標を社内で共有している	･経営理念を明文化し公開(HP) ･中期経営計画にてサステナビリティへの取り組みを重点施策としている								8	9								17
	【法令遵守】 ・反社会的勢力の排除、汚職や贈収賄、不正競争行為の防止など法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	･コンプライアンス委員会の設置 ･就業規則、グループ社員の行動規範へ明記 ･内部通報規程を制定し、窓口を設置 ･階層別研修や会議にて教育を実施																16	
	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	･コーポレートガバナンス体制の整備																16	
	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	･個人投資家説明会、機関投資家との個別面談を実施 ･IR、CSR情報の開示(HP)																16	17
	【リスクマネジメント】 ・法令遵守、環境安全衛生、労働環境などに関するリスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	･リスク管理規程の制定 ･リスク管理委員会による、重要リスクの発生防止とその管理の実施																16	
	【社会的責任】 ・ＣＳＲ（Corporate Social Responsibility：企業の社会的責任）の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	･産学チャレンジプログラムにて学生に学びの機会を提供																16	

カテゴリ	チェック項目	具体的な取組	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
組織体制	【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	･大規模地震対策、事業継続計画(BCP)を策定 ･安否確認システム運用(セコム安否確認サービス) ･自然災害を想定した避難訓練、安否確認システムおよび被災確認システムの訓練実施									9		11		13.1			16	
	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	･指名委員会で、後継者を含めた執行役員、取締役の候補者の議論を行っている								8	9								17